

川崎市立南生田小学校 学校だより 第9号

# 南いくた

令和7（2025）年1月8日（水）発行

## 【学校教育目標】

心豊かで自らよく学び  
たくましく活躍できる子どもの育成

南生田小学校校長

羽深 東

## 平和を願う

新年明けましておめでとうございます。

1年の始まりは気持ちのいいものです。心の中を掃除したような新たな気持ちで、自然と今年の抱負をいだきたくなります。今年巳年。へびが脱皮をするように、成長する1年になるように努めていきたいものです。

さて、去年は、日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞しました。この受賞は、自分自身改めて平和について考えるきっかけになりました。残念なことに世界のあちこちで、紛争や戦争が絶えることはありません。いつか日本が当事者になる日が来るのではないかという不安も感じます。暴力や威嚇によって事態を変えようとする人間の行動。心。

川崎市には「かわさき教育プラン」というものがあり、各学校が教育活動を行っていく上での指針となっています。平成17年度より実施され、現在は「第2次かわさき教育プラン」の3期目となっています。（詳しくは、川崎市教育委員会のホームページをご覧ください。）その、基本目標の一つに「共生・協働」という言葉があります。「個人や社会の多様性を尊重し、それぞれの強みを生かし、ともに支え、高め合える社会をめざし、共生、協働の精神を育むこと」という文が添えられています。こんな時代だからこそ、多様性を大切にすまちは目指している川崎に住んでいることに、子供たちは誇りをもってほしいと思っています。そして、暴力の愚かさや、時間がかかっても相手を尊重し、話し合うことで分かり合おうとする事の尊さを知る大人になってほしいと思います。教職員一同、毎日の授業のみならず、学校生活全般を通じて、この思いのもと、子供たちとかわわっていきたいと思います。

12月21日には長沢にこここハーモニーが生田高校で行われました。本校からはナントビー合唱団が出演しました。演奏出演するだけでなく、他の団体の演奏や演技の素晴らしさに感激、感動していました。地域教育会議では、年間を通じて子供たちの成長のためにできることを考えてくださっています。このような活動の積み重ねも、相手を理解したり感謝したりする気持ちを醸成し、社会を一つにすることにつながっていくのではないかと思います。学校ばかりが教育の場ではないですね。地域の力は大きいです。

冬休みが終わり、学校には、また元気な子供たちの声と明るい笑顔が帰ってきました。この姿がいつまでも見られる社会が続くことを願うばかりです。世界で起こっている惨事を対岸の火事として見てはいけないとは思いますが、戦争体験者が減ってきている中、その方たちの思いを受け止めて、日本の平和が続くように人の心を育てていくことは、教育の大切な役割の一つなのでしょう。

本年もどうぞ、よろしくお願いいたします。